

大野城総合公園キャンプ場
再整備に伴う設計・施工業務
審査基準書

令和6年7月
大野城市教育委員会
スポーツ課

【目次】

第1章 総則	1
1. 本書の位置づけ	1
第2章 事業者選定の概要	1
1. 事業者選定方式	1
2. 審査委員会	1
3. 審査の流れ	1
4. 資格審査(第一次審査)	3
5. 提案審査(第二次審査)	3
(1) 基礎審査	3
(2) プレゼンテーション審査	3
(3) 価格審査	3
(4) 事業者の特定	3
(5) その他	3
6. 提案内容の評価方法	4
(1) 基本方針	4
(2) 評価方法	4
(3) 提案審査	4
(4) 価格審査	4

第1章 総則

1. 本書の位置づけ

本審査基準書は、大野城市(以下「本市」という。)が、大野城総合公園キャンプ場リニューアル業務(以下「本業務」という。)を実施するにあたり、本業務を実施する受注候補者等(以下「事業者」と記載)を選定するための方法及び評価基準等について定めるものです。

なお、本審査基準書は、本業務の募集要領及び要求水準書と一体をなすものです。

第2章 事業者選定の概要

1. 事業者選定方式

事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、本業務で対象とする整備について、募集要領等の要件との適合性、事業遂行能力や事業計画の妥当性、リスク負担能力等、事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価し、事業者を決定するものとします。

2. 審査委員会

本市は、事業者の選定にあたって、大野城総合公園キャンプ場リニューアル業務審査委員会(以下「審査委員会」という。)を設置し、審査委員会の審査結果の答申に基づいて事業者を決定します。

なお、事業者決定までに、審査委員会の委員に対して接触等の働きかけを行ったプロポーザル参加者は失格とします。

3. 審査の流れ

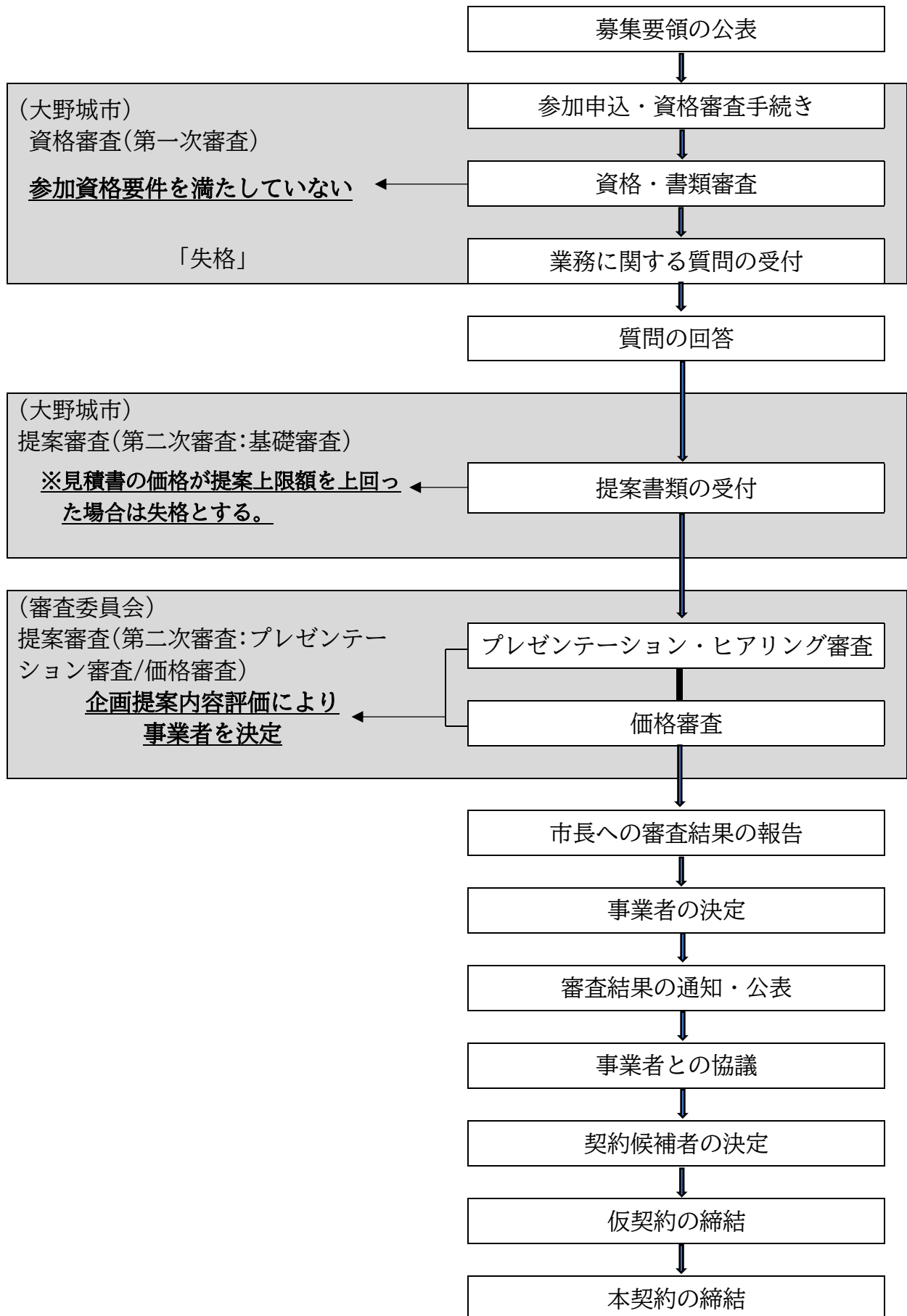
審査は、第一次審査の「資格審査」、第二次審査の「提案審査」で構成します。

資格審査では、プロポーザル参加希望者の参加資格要件の確認を行い、参加資格要件を満たすことが確認できたプロポーザル参加者だけが第二次審査の提案審査を受けることができます。

第二次審査の提案審査は、「基礎審査」、「プレゼンテーション審査」及び「価格審査」で構成され、審査委員会において提案内容を評価・審査します。その選定結果を受けて、本市が事業者を決定します。

本業務における事業契約等の締結までの流れを以下のフローに示します。

事業契約等の締結までのフロー



4. 資格審査(第一次審査)

プロポーザル参加希望者から提出された資格審査申請書類により、本市は、プロポーザル参加希望者が参加資格要件を満たしていることを確認します。当該確認結果を審査委員会にて認定し、プロポーザル参加希望者へ結果を通知します。

なお、参加資格要件を満たしていない場合は失格とします。

5. 提案審査(第二次審査)

(1) 基礎審査

資格審査を通過したプロポーザル参加者(以下「参加者」という)から提出された提案書類について、提出書類に不備又は不足がないか、見積書の価格が提案上限額を上回っていないか等の基礎審査を行います。

基礎審査において、上記内容に抵触する場合は、プレゼンテーション実施の前に失格又は無効となります。

(2) プレゼンテーション審査

- ① プレゼンテーションは、1 参加者につき制限時間は 20 分とし、その後、審査委員による 15 分程度の質疑応答時間を設けます。なお、プレゼンテーションへの出席は、実際に業務を実施する際の担当者を含む 3 名以内とします。
- ② プレゼンテーション及びヒアリングにおける発言・回答内容等は、提案書類における企画提案内容と同様の扱いとし、本業務の契約上の拘束力を有するものとして取り扱います。
- ③ プレゼンテーション審査の日時・場所等の詳細は参加者に別途連絡します。

(3) 価格審査

価格評価の点数は、提案上限額を基準とし、絶対評価方式によるものとします。

(4) 事業者の特定

市長は、審査委員会からの審査結果の報告を参考に、事業者を特定します。

なお、審査結果は、参加者(共同企業体の場合は代表者)に文書で通知するとともに、市公式ホームページを通じて公表します。

(5) その他

市は、事業者との業務内容に関する協議が成立しない場合又は事業契約等の締結までに事業者の代表者若しくはその構成事業者のいずれかの者が業務参加の要件を欠いた場合、市は審査結果の次点の者と順次協議を行うことができるものとします。

6. 提案内容の評価方法

(1) 基本方針

参加者から提出された提案書類の内容について、審査委員会による専門的な見地からの審査を行うものとします。

本業務は、事業者のノウハウ・能力や地域特性を活かした持続的な事業運営を図ることが重要となることから、大野城総合公園キャンプ場のリニューアル案の安定性・妥当性等について、審査委員会において審査を行います。

(2) 評価方法

- ① 事業者の選定は、8名より組織される審査委員会において行います。
- ② 審査委員会の委員名については、公正な審査に影響を与える行為を防止するため、非公表とします。
- ③ 参加者は、提出する提案書類の内容について、プレゼンテーションを行います。
- ④ 評価点は、各委員における提案書評価点、プレゼンテーション評価点及び価格評価点の合算により算出します。得られた評価点の最も高い者を事業者とし、また、次点候補者も併せて選定します。
- ⑤ 配点(100点満点/委員)に、採点した委員人数を乗じた点数の6割を最低基準点とし、それ以上の評価点を得た提案の中から選定します。
- ⑥ 最も高い評価点を得た参加者が2者以上の場合は、採点した委員の多数決で選定し、可否同数のときは、委員長が選定します。
- ⑦ 審査委員会(プレゼンテーション)の開催は、令和6年10月上旬頃を予定しており、具体的な日時や場所は参加者へ別途お知らせします。

(3) 提案審査

提案書の内容について、「表1 大野城総合公園キャンプ場リニューアル業務提案評価項目及び配点表」に示す各評価内容に対して行い、それに応じて計算された各審査項目得点の合計を算出し、提案審査点(100点満点/委員)とします。

(4) 価格審査

価格評価(100点満点)の点数は、提案上限額を基準とし、絶対評価方式による以下の式にて算出します。

$$\text{価格点} = 100 \text{ 点} \times (1 - \text{見積額} / \text{提案上限額})$$

表1 大野城市総合公園キャンプ場再整備に伴う設計・施工業務 プロポーザル評価内容・配点表

区分	評価項目	評価の視点		①配点
Ⅰ 施工全般	働き方改革	1	①「遠隔臨場」の実施と建設キャリアアップシステムの活用について提案する。 ②施工管理を損なわずに提出書類や現場打合せなどの縮減について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	生産性向上	2	①ICTの活用など現場での生産性向上について提案する。 ②工期短縮（早期供用開始）方法について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	労働安全	3	①労務災害を起こさないための新たな取組みを提案をする。 ②協力会社への安全対策等、配慮すべき内容について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	配置技術者	4	①多工種の工事における配置技術者の経験や資格について提案する。 ②若手技術者の育成や技能向上、研修等の実施について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	施設安全	5	①ライフサイクルなど長期的に安全に使用するための材質等を提案する。 ②キャンプ場内の電源や照明など、安全対策を提案をする。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	地元貢献 工事実績	6	①協力会社等に地元企業を採用するなど、地元貢献案を提案をする。 ②他の同種工事の実績を提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	環境対策	7	①工事中の振動、騒音、粉じん、水質汚濁等の環境対策について提案する。 ②リデュース・リユース・リサイクルなど環境に配慮した工事方法を提案をする。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	災害対策	8	①工事中、工事後の地震や風水害など自然災害対策について提案する。 ②工事中、工事後の利用者に対する安全確保について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
Ⅱ 設計全般	整備方針	1	①多様に遊べる、環境学習、地域学習について提案する。 ②事業継続、維持管理の観点から投資回収について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	キャンプ ゾーン	2	①オートキャンプなど誘客について提案する。 ②気軽に利用でき、Wi-fiを整備し、ごみ対策について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	建築施設	3	①景観や色彩などに工夫した点を提案する。 ②動線や配置などに工夫した点を提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	広場 ゾーン	4	①広場ゾーンの施設整備について提案する。 ②広場ゾーンの管理・運営方法について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	森林活用 ゾーン	5	①森林活用ゾーンの施設整備について提案する。 ②森林活用ゾーンの管理・運営方法について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	出入口 駐車場	6	①出入口の管理・運営方法と施設整備について提案する。 ②駐車場の管理・運営方法と施設整備について提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	環境対策	7	①LCCMや材質の選定などに工夫した点を提案する。。 ②ユニバーサルデザイン、バリアフリー、インクルーシブについて提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
	安全対策	8	①こどもが怪我なく遊ぶために配慮した点を提案する。 ②利用者が事故無く利用するために配慮した点を提案する。 以上の内容を具体的に提案してもらう。 提案が実現可能であること。また、その効果で評価する。	5
Ⅲ プレゼン テーション	プレゼン 能力	1	提案説明の選定が的確であり、説明も分かりやすかった。 ※プレゼンは上記全ての内容を説明する必要はない。特に説明したい項目を、Ⅰ 施工全般とⅡ 設計全般からそれぞれ選定して説明する。 質問内容に対する回答が分かりやすかつ的確である。	5
	提案書	2	景観や美観を考慮した提案書となっているか。 大野城総合公園キャンプ場の特性をとらえた提案書となっているか。	10
	積極性	3	上記以外の項目で、具体性、現実性が高く、提案効果が期待できる追加提案がなされている。	5

※小数点第3位を切り捨てとする。
※Ⅰ 施工全般・Ⅱ 設計全般の詳細の評価は、別紙参照

価格点	価格点＝100×(1－見積額/上限額)
提案点	提案書(Ⅰ【施工全般】＋Ⅱ【設計全般】)(80点)＋Ⅲ【プレゼンテーション】(20点)
合計	価格点＋提案点